

第Ⅰ章. まちづくりの全体ストーリー

目的に向かって着実にまちづくりを進めるための事業展開を以下に示します。

「歴史と自然に彩られた ふるさと飯山まちづくり」

1. まちづくりデザインの基本

飯山の持つ「歴史」と「四季鮮やかな自然」を活用し、市民が活力を発揮する場を創出する

2. 来訪者を意識した「飯山のイメージデザイン」を考える

歴史、まち並み、自然の素材を生かした、来訪者に感動を与えるまちづくりデザイン

3. 感動を与える 飯山の「イメージデザイン」とは

- ・ふるさとを思わせる「ほっとした安らぎの空間」、「四季の鮮やかさを感ずる植栽空間(庭)」の演出
- ・「ゆったりとした時の流れ」に身をゆだねる、飯山の歴史(城山・寺町)巡り、散策
- ・新鮮な農産物でつくる「食の感動」によるコミュニケーション
- ・まち歩きが楽しくなる食やマルシェ(市場)、伝統産業や芸術・文化を巡る界隈性のある連続的賑わいの場の創出

4. まちづくりの展開

まちなかをゾーンに分け特徴を生かしたまちづくりを魅力向上プロジェクトにより推進

「魅せる」要素 (歴史・自然・景観・人)

- ☑四季、植物・生物
- ☑飯山城
- ☑寺院群
- ☑正受庵
- ☑伝統工芸と匠の技
- ☑高橋まゆみ人形館
- ☑古い建物(町家、蔵、雁木)
- ☑山、千曲川、小水路 など

「楽しむ」要素

- ☑自然の中でのくらし
- ☑健康・スポーツ
(スキー、ウォーキング、マラソン、サイクリングなど)
- ☑カルチャー(花、仏像彫、音楽、写真)
- ☑産業ツーリズム(仏壇工場などの見学)
- ☑お寺体験(座禅、説法、精進料理) など

「味わう」要素

- ☑笹寿司
- ☑富倉そば
- ☑地酒
- ☑和菓子(和スイーツ)
- ☑米
- ☑地域の野菜(アスパラなど)
- ☑きのこ
- ☑みゆきポーク など

めざすまちの姿

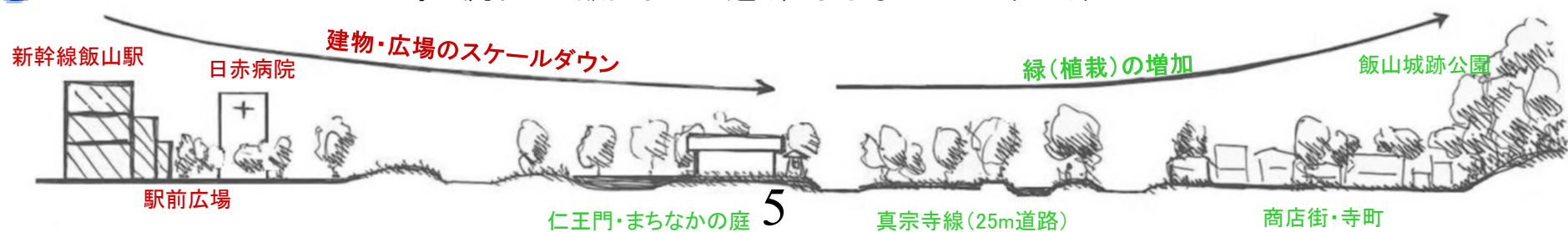
・自然が豊かで四季を感じるまち ・景観に優れたまち ・歴史と文化を感じるまち



（東京から110分／金沢から65分）



時の流れは 飯山までは速く、“まちなか”ではゆっくりと……



まちづくりの展開

魅力向上プロジェクトでまちなかをイメージアップ

3つのゾーンと4つの拠点と5つの推進エリアでまちづくりを展開



魅力向上プロジェクト

『美しいまち』プロジェクト

- 建物修景の推進
- 植栽による修景の推進
- 案内表示板(サイン)整備の推進
- 環境美化の推進
- 芸術性を感じるまちなか演出(工芸品の活用など)
- 時間と共に深みが出る自然素材の活用

『まちなか賑わい』プロジェクト

- 飯山版の商品開発の推進
- 賑わいをもたらす起業家の誘致と支援
- 新たなスタイルの店舗リニューアル支援

『歴史と文化を伝える仕掛け』プロジェクト

- 歴史の見える化の推進
飯山にまつわる歴史や文化を物や人・ITなどでわかりやすく伝える。
- 地元の産物を使った食の提供
- 優れた人材のまちづくりへの参画
- お寺さんとのまちづくりへの参画
- お寺さんによる精神文化の教え

『まち“庭”』プロジェクト

- 飯山の特長を活かした“庭”の整備推進
(植栽による四季の雰囲気づくり)
- 朝市、オープンカフェの開催
- 歩く人の休息、賑わい・憩いの場の提供

「魅力向上プロジェクト(市民と協働のまちづくりの具体例)」

『美しいまち』プロジェクト

☑建築修景の例



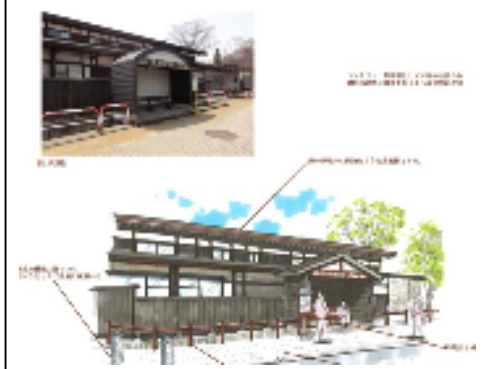
主に回遊する通り沿いの既存建物の修景
(補助制度を創設し、住民と修景する。)

☑植栽修景の例(四季彩を演出)



主に回遊する通り沿いの民地に植栽
(補助制度を創設し、住民と修景する。)

☑工作物の修景の例



城下町や寺町の風情にあったものに修景
(塀や柵・案内標識・バス停などを修景する。)

☑歩道や玄関先などの修景の例



植栽とあわせて歩道も自然素材を使用し、
時間の経過とともに風合いが出るものに修景
(参道やセットバックした民地のしつらえ
に補助制度を創設し、住民と修景する。)

『まちなか賑わい』プロジェクト

☑商品の開発や統一したパッケージデザインの例



- ・飯山駅でしか購入できない
地域食材を活かした駅弁
(謙信寿司御膳や
飯山ふるさと弁当など)
- ・お土産の包装紙などは飯山
らしさデザインしたものに

『歴史と文化を伝える仕掛け』プロジェクト

☑歴史を楽しく・わかりやすく伝える例



- ・だれもが案内人になれるよ
うな人材育成
- ・訪れる人のニーズにあわせ
た案内(IT活用も含めて)
- ・飯山城址公園界隈では歴
史案内に加え、甲冑などを
まとった撮影サービスも...

☑まちなかの優れた人材をまちづくりへ参画する例



まちなかには、技術に富んだ人材
が豊富におり、教室を開いている方
や全国的に展覧会などを行っている
方もいます。そうした人材をまちづ
りの一環として考えたい。
(写真は愛宕町の柳本氏の仏像)

『まち“庭”』プロジェクト

☑“庭”の整備推進と活用(例)

☑鉄砲町児童公園の整備活用



☑西敬寺付近での小公園整備



☑雪と寺の町シンボル広場の整備活用 (仁王門)



☑新幹線飯山駅の3つの広場の整備と活用 とアトリウムでの観光情報発信



☑桜の保存と活用



☑真宗寺線(25m道路)の整備 と活用



☑飯山港を活かした整備

☑市民会館に替わる(仮称)飯山ぶらざは飯山城跡公園
から市街地に移し、賑わいの拠点として市民や来訪者も
使用できる機能を充実する。

☑“庭”で休憩・ふるさとにふれる例



歩くまちには休息する場所
も必要。庭園の中で地元野
菜の販売や地酒・ジュース・
和菓子などの地元ならではの
加工品を提供
(写真は寺町駐車場の活用例)

☑ぶらり広場の有効活用

☑雪と寺の町公園の整備と活用



推進エリア1
飯山駅周境界限

推進エリア2
愛宕寺町境界限

推進エリア5
商店街境界限

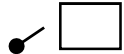
推進エリア4
広小路境界限

推進エリア3
飯山城跡公園・人形館周境界限

☑飯山城跡公園の整備と活用 (江戸末期の城郭に復元)



凡 例



まち“庭”の箇所



まちづくり推進エリア(詳細は9頁から記載)



修景でつなぐルート(回遊ルート)